

第 2 回 冬期道路交通の確保のあり方に関する検討委員会

議 事 概 要

1. 日時

平成 24 年 10 月 11 日（木） 15 : 00 ~ 17 : 00

2. 出席者委員

田村亨委員長、木村一裕委員、倉内利浩委員、諸橋和行委員

3. 議事概要

事務局より資料について説明し、主な議論は以下のとおり。

■ 論点について

- 2 番目の論点（効果的・効率的除雪について）に関し、より効率的に費用を削減しながら効果的に行うという観点の議論と、国が地方自治体に対して行うべき大雪時のセーフティネットという効率性ではない観点の議論が必要。

■ 路線の機能に応じた冬期道路交通確保について

- 市町村合併等により施設が集約化され、アクセス道路の重要性が高まってきていることが分かる。
- 最近 2 年続いた大雪時に発生した課題を整理し、従来見られない点があれば新たな課題として対応すべき。そうでなければ従来の対応の延長で考えれば良い。
- 高齢者の場合、自動車を運転できても乗ることを控えバス等を利用するという傾向が出ている。
- コンパクトシティと関連するが都市の郊外化は抑制すべきとの考え方が出てきている。
- パーソントリップ調査等のデータでは出てこない中山間地など条件不利地についても整理すべき。
- 冬期道路に関する住民の求めるレベルは、行政がレベルを上げれば上げるほど高まる。財政も厳しい中、ここまでは許容してください、と行政が住民に求めることも考えるべき。